

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果（第21回）

第21回のテーマは「自治会活動に関するアンケート」でした。

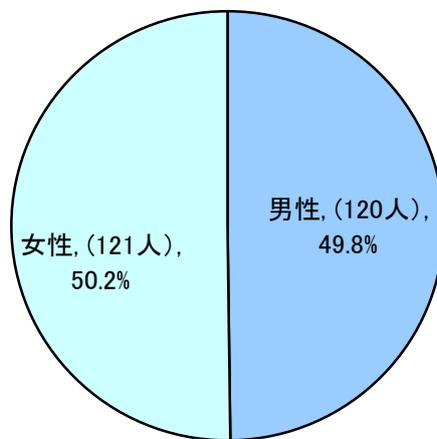
登録者数：346人

実施期間：平成27年10月9日(金)～10月19日(月)

回答者数（回答率）：241人（69.7%）

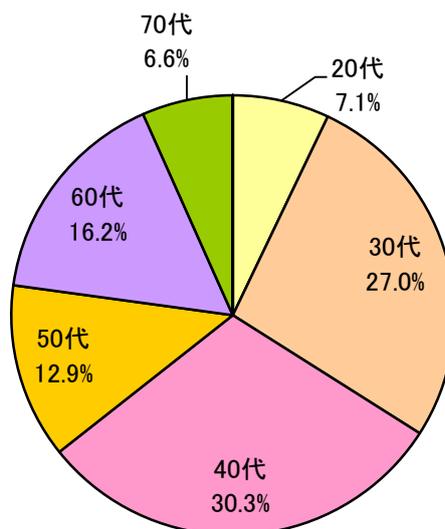
性別

(n=241)



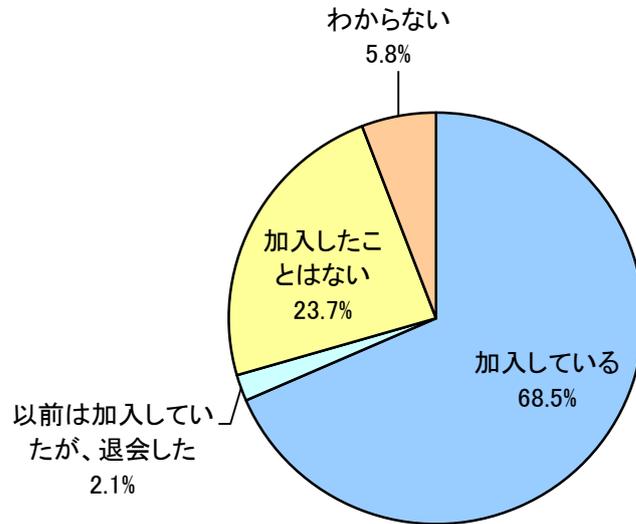
年代

(n=241)



[Q1]あなたのご家庭では、自治会に加入していますか。(単一選択)

(n=241)



○「加入している」と答えた方が多いものの、「加入したことはない」「わからない」など、自治会への参加経験がほぼ無いと思われる方が 29.5%になり、自治会活動が地域に浸透しているとは言い難い状況です。

[Q2]自治会をやめた主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=5)

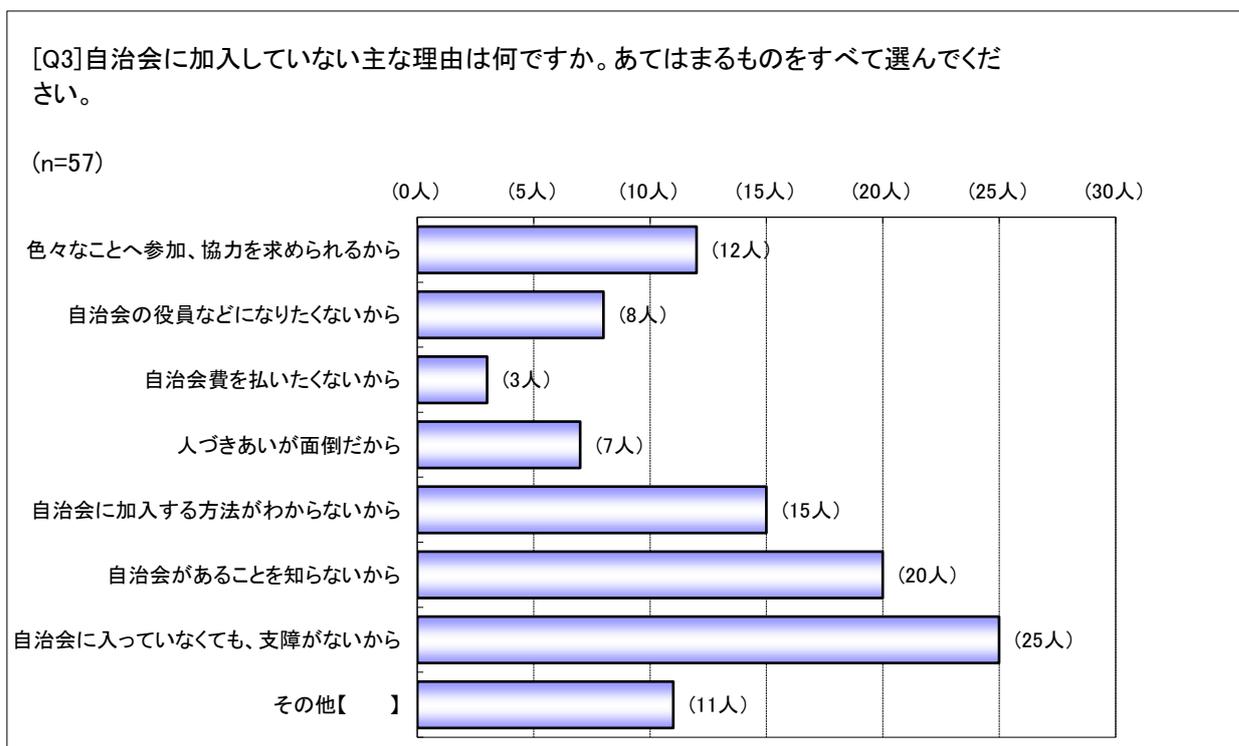


○[Q1]で「以前は加入していたが、退会した (2.1%)」と答えた方が感じた意見です。「そ

の他」にあげられた意見も含めて、転居など住環境の変化が影響した方もいる一方、「メリットを感じない」「色々なことへ参加、協力を求められるから」と自治会が行っている活動が家庭によっては馴染まず、地域コミュニティに対する価値観や認識の違いが原因となっているようです。

・「その他」に寄せられた意見は次のとおりです。

転居先に自治会がなかったため／自治会と理事会が統合されて無くなった。／生活習慣の違いから、近隣との良好な関係維持の為には脱退した方が返って良策と判断した



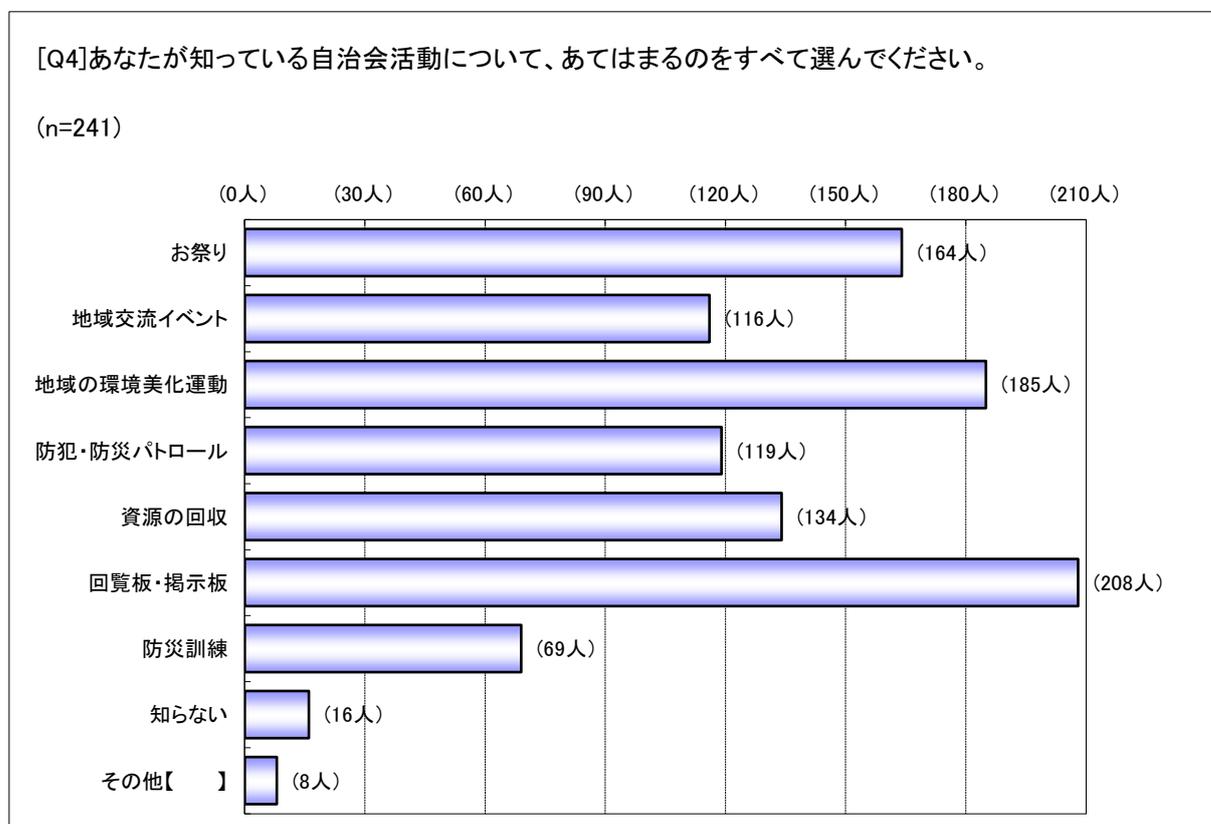
○[Q1]で「加入したことはない (23.7%)」と答えた方が感じている意見です。「自治会に入っていないなくても、支障がないから」と答えた方が最も多く、地域コミュニティの必要性やメリットが実感できないことが原因となっているようです。

一方で、「自治会に加入する方法がわからないから」「自治会があることを知らないから」と加入の手段やその情報が認知されていないことが原因となっているケースが57人中35人を占めており、今後、行政からの情報提供がより必要であることがわかります。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

自治会が無い／マンション全体が非加入／マンション管理組合の方針／アパート暮らしを終えて定住先を見つけてから参加したいと思っているため／この周辺は親戚縁者が多くよそから来た我家は難しい

○「その他」の意見では、住環境により各家庭や個人に加入の選択肢が無いためというものが目立ちました。

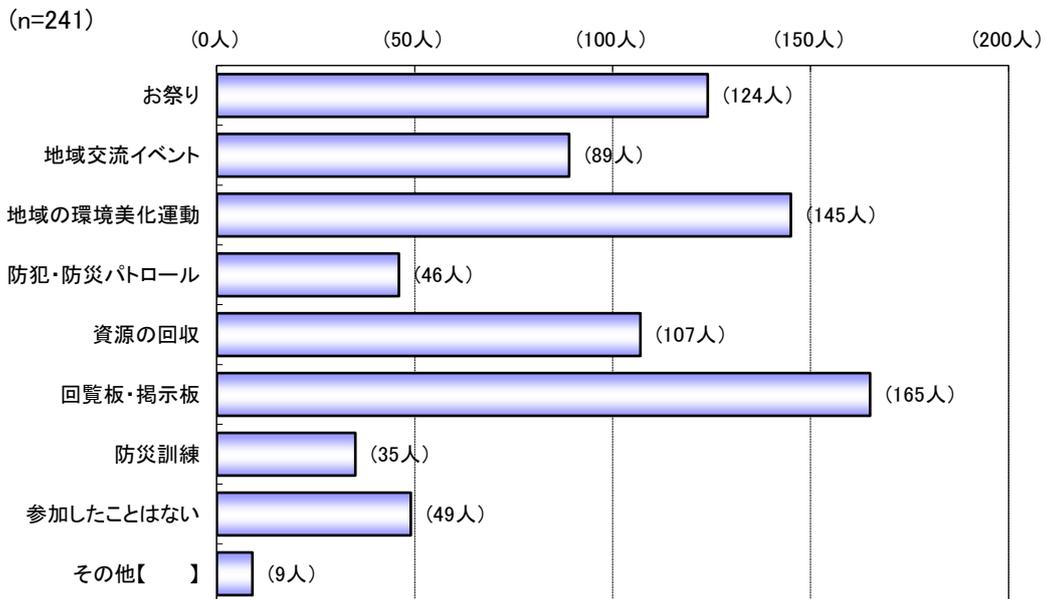


○「回覧板・掲示板」と答えた方が最も多く、次いで「地域の環境美化運動」「お祭り」「資源の回収」など参加者を募るイベントなどの活動があげられています。情報共有と地域美化、地域伝統行事などが自治会の役割として一部の住民意識に浸透している一方で、「知らない」と答えた方も約6%います。自治会への認識や関心・興味に隔たりがあることがうかがえます。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

要介護者への自治会独自対策／共同募金・年末助け合い運動／災害対策／地域伝統行事

[Q5]あなたが参加したことがある自治会活動について、あてはまるのをすべて選んでください。



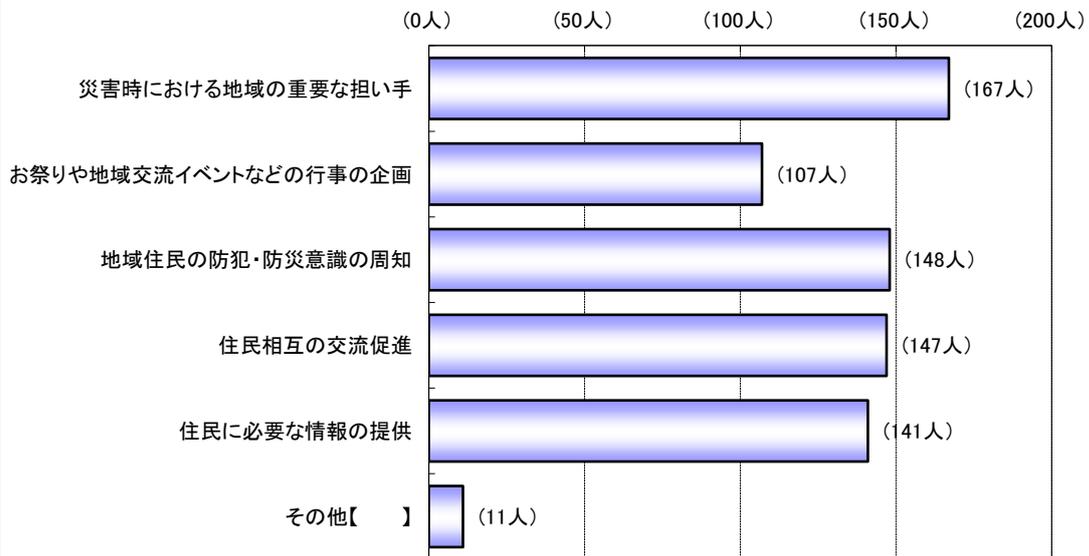
○「防犯・防災パトロール」と「防災訓練」は、「参加したことがある」とした人数が[Q4]で「知っている」と答えた方の半数程度となりました。全体的にも“知っているも参加したことはない”といった状況が見込まれますが、中でも、「防犯・防災パトロール」や、「防災訓練」などは、参加しづらい、もしくは活動がしにくい状況にあるようです。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

要介護者への自治会独自対策／共同募金・年末助け合い運動／災害対策／地域伝統行事

[Q6]自治会の役割として特に必要だと思うことをすべて選んでください。

(n=241)



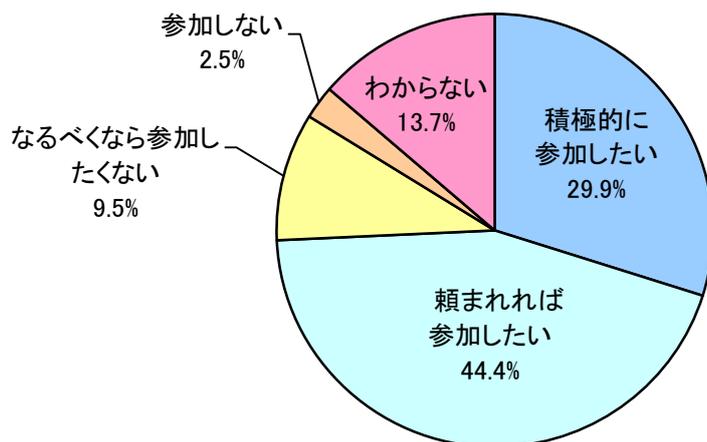
○「災害時における地域の重要な担い手」と答えた方が最も多く、全体の約70%になります。先の激甚災害の経験などから、自助・公助・共助のあり方が度々見直されてきましたが、自治会に期待されることも大きいようです。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

住民間の助け合い、お助け隊の様なボランティアグループを組織してそれぞれの技術特技等を活かした活動を計画中です。たとえば水道の蛇口の漏れの修理、自転車のパンク修理その他いろいろです／要介護者・買い物弱者への対策／葬儀の手伝い／地域の美化／地域住民把握、居住状況、危険個所把握／不要

[Q7]今後、災害が発生した場合、地域の担い手として避難所運営への協力や地域の高齢者の手助けなどの自治会活動に参加したいと思いますか。(単一選択)

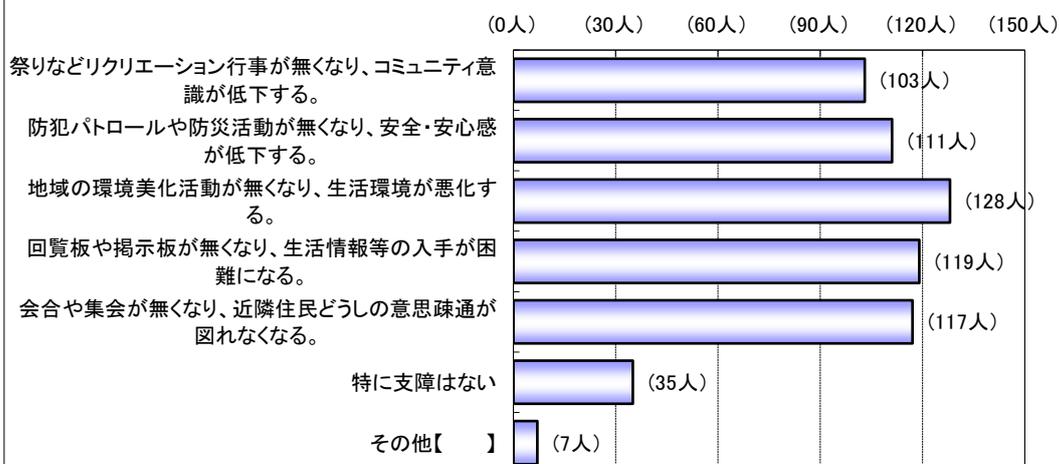
(n=241)



○「積極的に参加したい」「頼まれれば参加したい」と参加に肯定的な回答が全体の 74.3% です。[Q 1]の結果の、現に自治会に加入している人 (68.5%) の割合と比較すると、自治会に加入をしていない人の中でも、災害時などは地域の担い手として協力したいと感じている人もいます。

[Q8]自治会活動が無くなった場合、どのような支障があると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=241)



○「特に支障はない」とした方が35人と全体の約15%です。それ以外の方は自治会活動が無くなった場合、何らかの支障があると感じていることがわかります。

・「その他」として寄せられた代表的な意見は次のとおりです。

要介護者・買い物弱者が見殺しになる／よくわからない／災害時にコミュニケーションが取れず、避難活動などが難しくなる／共助、公助の基礎情報把握

Q9	参加してみたい自治会活動のご提案や、自治会加入率を上げるためのご意見がありましたらお書きください。(自由記述)
----	---

- ・防災訓練は関心高いのではないのでしょうか？
- ・一部の自治会にあるような、市議会議員が票集め・顔を効かせるために必ず自治会の役員になるような、独裁的な自治会にはなあってほしくない。
- ・お茶会などの交流会
- ・自治会加入のビラ配り
- ・リサイクル運動
- ・無理に「活動」・「役員決め」・「会議」などをするので参加減少する。上記を無くす方法は、自治会の活動を縮小し中身を充実させてから規模を大きくする事が最善
- ・会費がかかる事や小さい子供（一歳未満）を連れて日曜日の朝からの美化活動が大変と聞きました。小さい子がいるので、そう言った話を聞くと加入する気になれません。加入率を上げるには配慮、考慮、時には参加しなくても文句言われたい事が必要かと思えます。
- ・自治会と直接関係の無い募金や会費の徴収代行？はやめるべき。
- ・自治会と直接関係ない業務は代行？はやめるべき。
- ・自治会の維持だけの会費・業務であれば役員をやってもよいとの人が多い。
- ・無断駐車、公道での長期間にわたる夜間を含めた駐車等、自治会をあげて規制してほしい。近所であるがゆえに、意見が出しにくい。
- ・市で自治会入会者に対して特典を与える
- ・ニュータウン地区・橋賀台に40年以上居住しています。

【所感】

昭和期は、小学生の人数も多かったころから「保護者間の交流」とリンクしながら自治会活動も行われていた感があります。一方、最近のニュータウン地区は少子化と新興住宅の影響を受け、小学校の児童数に大きな偏りがあります。児童数の多い地区（はなのき台の吾妻小・周辺および江弁須地区の加良部小）においては、PTA活動も自治会活動も活発であるように見受けられます。

【提案】

小学校の学区割りを見直しては如何でしょうか？児童数の平準化が図れる学区割りがよ

いと思います。

【期待される効果】

- ・教育の均等化
- ・校舎の改築、新築に関する経費削減
- ・PTA 活動の活性化

※PTA も自治会も役員をやりたがらない人が多い。

活動に参加するのは、多少は仕方ないと考えている人はいる。

児童数が増えれば、役員が回ってくる回数も減る。

【自治会への影響】

親同士のつながりにより、自治会活動の参加拡大が期待できる

- ・街灯、防犯カメラ増設
- ・美化運動や資源ごみ回収などを通じて、住民同士の交流を深めるだけでなく、社会的貢献も果たせるような活動を中心に置きたい。
- ・子育て働き手世代には自治会の役員が負担です。負担は大きいのに利益はあまりないと思います。無駄な集まりを減らすなどもう少し負担を減らすことをしないとみんな加入したくないと思うのは当然です。
- ・新しく入る人が入りやすい環境を作ってもらえると嬉しい。
- ・係りの人の事前準備が大変ではなく、気軽に参加できる行事に参加したい。
- ・各種のユニークなレクリエーションに力を入れている自治会
- ・同世代の父親だけのコミュニティー
- ・私の自治会も高齢化が進み、七十歳以上の会員が半数六十歳以上では七割から八割と世代交代はあまりなく役員が出来ないから脱退したいなどの問題があります。入会率は97パーセント程で高齢ながらも協力しあって自治会活動を盛り上げています。未加入者の勧誘により新たに数戸の家庭が参加いたしました。イベントも二カ月に一回実施して会員相互の親睦を図っています。
- ・子供会のようなことなど、子どもから老人まで気軽に参加できる催しものなどしたらいいと思う。
- ・自治会とは何かどの様な活動をすべきかを常に考えることが大事、高齢化により自治会運営が困難になっている現状を打開する施策を市政を啓蒙して貰いたい。
- ・活動すると、お茶などもらえたりすると、ヤル気が出ます。また、子供も参加できるバス旅行なども楽しいと思います。
- ・ご近所の加入状況を見ると、高齢化、配偶者がいない(死亡等)、夫婦どちらかが欠けた場合は退会すると云う方々が多いです。今後益々高齢化が進み退会者が増えるのも確実です。
- ・自治会の行事で、若い世代の参加も見受けられ、こんなに子供たちがいるのね！と、ホッとさせられる場面もあります。
- ・息子や娘たちの世代の加入、活躍を期待するばかりです。

- ・私の地域の自治会活動は上手くいっていると思います。
- ・私は理由があって自治会を脱退しましたが、集会に呼ばれれば参加しており、近隣との良好な関係は維持出来ています。
- ・道路整備等の地域活動が纏りを作っているのので、型に嵌めずに地域特有の活動への支援が望ましいと思料します。"
- ・若い世代が、高齢の世代に遠慮無く新しい企画内容が提案出来る様になって欲しい
- ・防災はリーダーに知識、リーダーシップ等が不可欠で、専任化の必要がある。豊齢会に入っていないが、閉ざされているのでは？なぜ入っていない町内があるのかわからない
- ・新しい住宅地が誕生すると若い世代はそちらに住むようになり、既存の住宅地は高齢化して行くのみである。従って、防犯や振込み詐欺などの予防や情報の共有を図る様な自治会活動を増やすようにする。
- ・皆が参加して、楽しく楽しめる自治会活動が必要であるが、美化活動不参加者等の恩恵のみ享受して、自らは汗を流さない人たちへの罰則規定も設けることで、正直者が損をしない仕組み作りも必要。
- ・ニュータウンの団地に住んでいますが、そもそも、住み始めてから今日まで、自治会に関する情報には、全く接していません。自治会があるのなら参加して、地域の活動にももっと関わりたいとは思っています。ただ、具体的にどうすれば良いのかという情報は全くありません。そういう人はけっこう多いのではないのでしょうか。
- ・現在の自治会は旧住民のための自治会といった感じ。従って、新住民の加入率や行事への参加率は低いのではないか。
- ・コミュニティの重要性は、今後、ますます高まるものと考えられる。自治会の長期的全体的な成功のカギは、「新住民と旧住民の融合」で、そのためには新住民への漏れのない、加入や参加への丁寧な説明の仕組みと、新住民の声を取り込んだ活動企画が大切だと思います。
- ・ラジオ体操など地域の公園で無料でできる簡単な運動行事があると参加しやすい。
- ・近所の人が気軽に集まれる機会を市から自治体活動として推進してほしい。
- ・引きこもりがちな高齢者も気軽に参加できて健康にいいことをやれば参加率はあがるはず。
- ・親の話を聞くと班長や副会長など役職に就きたくない、やりたくない方が多いと言います。
- ・何かそれらの役職に就いた際に何かメリットなどをつけた方がいいのではないのでしょうか？
- ・はなのき台の自治会に加入してますが全く住民に還元されてない。自治会に入ってた良かったと思えるような企画をしてもらいたい。
- ・うなりくんやチーバくんと一緒に参加してくれる避難訓練などあれば楽しいのでは？
- ・「参加していて良かったなあ」と思えること。結果的にそうなることもあると思います。

・災害や事件、事故、高齢者の一人暮らし等の助け合わなければならない時の自治会のあり方を考えれば多少のわずらわしさよりは地域の繋がりが重要だと思えるのではないでしょうか。

・地域清掃の回数を上げると、コミュニティの活性化にもなる。

・お祭りなど一定の人たちだけが盛り上がり楽しんでいるように感じる、自治会費などが平等に使われていると感じなければ、どんな活動を企画しても無理だと思う。

・自主防災活動。資源回収。お祭りや納涼会などの交流の場。

・市で行っているような体験教室があれば参加してみたいと思います。

・意識改革…というか、まずは、1人1人の意識が変わるように、講演会等があっても良いかな？と、思います。

・若者を中心とした交流会

・PCやスマホ等などのネット関連による情報発信の強化により、回覧板だけでなく、掲示板等の書き込みを利用すれば、もっと幅広い意思疎通が図れるのではないかと思います。

・活動自体に存在意義を感じない。

・難しいとは思いますが、自治体加入を義務にしないと個々人それぞれ異なる感性の中必要性についても異なった意見が出てくると思う。しかしながら、自治会活動に参加している人たちによる環境美化やゴミ集積場の清掃、防犯灯の維持、防犯パトロールなどから利益を共有していることは事実であるが、それについては税金を払っているから利益を得ることは権利であると主張する人が多くいる。だったら割り切って自治体活動の多くを税金により業者に委託するなど公平感を持てる対応を市が行って、自治体は地域のコミュニケーションだけの機能に徹すると割り切ることも選択肢の一つだと思う

・縛りなく、仕事に影響なく、関わると得するしくみが無ければ難しいと感じます

・何をやってるかすら認知されてないものを加入率も何もありません。即刻解体すべき。

・一件家が多いので、庭の手入れ方法等教えて欲しい。

・自治会同士の交流やイベントがあっても良いと思います

・高齢者の増加による自治会活動力の低下を防止する（した）実例などの広報

・シルバー人材の持つ知識や経験・技術を発揮できる場を増やす

・地域の美化は、住民一人一人の問題でもあるから、住居の周りはキレイにしたい。そうでないと、言葉も掛けにくい。市道のゴミは我が家に関係ないではなく、自宅前のゴミは拾ってキレイを心掛けてほしい。誰だって忙しいし、忙しさをコントロールしているのだから。成田市開催の花火はありがたい、地元開催は年々難しくなっていくのではないかと感じている。手間、時間、金、スペース、安全、後始末などで。

・年齢や家族構成によって、どうしても関心のあり方が異なるので各年代ごとの活動を多くし、その中でまた全住民一緒の活動を企画していく。

・あまり思い浮かばないが、やっていて楽しくなるような遊び心のある活動が良い例えば利根川を利用した「釣り大会」とか、-----

- ・地域活動の重要性を市民に繰り返し啓発する。
- ・知り合いの誰もが自治会活動が面倒と言って嫌々やっている人が多いので、自治体活動無くすか、面倒な活動だけでも無くした方が良く。このご時世、仕事や家庭のことでみんな忙しいから、回覧板を回して情報共有する程度で良いと思う。
- ・自治会には加入していません。加入の勧誘に来たこともありません。
- ・回覧板すら見たこともない。来るのは、年 1 回の助成会費の集金のみです。ゴミの管理や人件費で、お金を取られています。ただ、ゴミの収集管理は税金を払っているのですから、市行政単位で行って欲しいとおもう。
- ・役員になった時の負担が軽く感じられる雰囲気、平日頃のあいさつや会話が重要になる。町自体がきれいになると気持ちもよくなる。ある程度下準備をすることが必要だが、根回しする人が必要か？
- ・災害時の対応について、共通認識を持てるような取り組み。
- ・防犯や防災の訓練等には、参加したい。
- ・積極的に高齢者に接触し話し相手になってやる。
- ・集まる場所を提供する。
- ・人集めには絶えず苦勞しています。
- ・個人にとって自治会に期待するものはどんなことかの意向調査が必要なのでは。成功例を紹介して頂きたい。
- ・自治会に参加しなくとも特別支障はありません。というか、必要性は何か？と思います。ただ一つあげれば、歳をとり一人、または二人で生活をしている方々の生活を支える活動の一つ。若い人達に参加してもらうにはどのような必要性をあげるか、私には思いつきません。なので、良い事例を広く教えていただければと思います。
- ・前の設問で特に支障はないを選んだが、社会貢献はボランティアでやるべきで、見返りを期待する組織、団体を行政が補助しすぎるのでは。工夫が必要。私が参加する祭り、ドンド焼き等のイベントは、ボランティアと思って、参加している。
- ・町内の家族構成が高齢化しており輪番で役員になることを忌避したい故の自治会脱会者が多くなってきた。野外活動等で連帯するというのも無理がある。
- ・町内に手軽に集える場でもあればよいのですが
- ・自治会の会費は何に使われているのか、いまいちわからず、高いなあと思うことがしばしばです。もう少し、参加しやすいイベントを企画してもらいたいです。提案の場や意見先が見えにくい。班長をしてもわかりにくい。わかりやすく、年に一度の総会も気軽に参加できる雰囲気を求めます。
- ・自治会の班長が回ってきたら集会所での役員決めがあり、それが年と共に苦痛になってくる。若い人に押し付けるのも嫌だし自治会活動の大元を民間に委託しても良いと思う。そうすれば見通しが良い会計等が期待できる。防犯等は地域でボランティアや小遣い稼ぎに老人達を募集すれば良いと思う。時代にあった自治会に移行する時期だと思う。

- ・自治会活動は本人の目的意識が必要です。
- ・何のための自治会なのか、をよく認識することです。
- ・若者でも参加しやすい行事を行う。
- ・自治会費の負担額を減らす。
- ・災害時を想定しての避難訓練や各年代層の住民が参加可能なイベント開催。
- ・自治会費の低減を図り洩れなく加入することがしやすい環境。
- ・自治会の活動の中で一番、全員に関係してコミュニケーションが取れるのが地域の美化清掃と災害時の対応であると思います。これをどのように全員参加で実施できるかが、自治会の課題です。自治会は子供会の PTA ではないのですが、そのような傾向があるように感じます。
- ・新しい人も、地元の方も交流しやすいイベントがあるといいなと思います。
- ・今後、超高齢化社会を迎えるにあたり地域と自治会の関係でなく、己と自治会の関係が何処まで築けるかが早急に求められると思う。
- ・加入とは名ばかりで……という家庭も多いと思う。やはり馴染みが少ないから？この地区に越して日も浅いので。
- ・自治組織の重要性の住民への周知と強制力のある条例・規則の整備
- ・堅苦しい雰囲気だと若い人は参加しにくいと思うので、時間とか決めず入退場自由なイベントがあると自治会に参加しやすいのではと思います。
- ・自治会内の年齢があがり、自治会から抜ける方が増えている。役員になると大変だからと言うのがほとんどの理由です。市がもう少し協力してほしい。配布物などたよりすぎです。役員に手当てを市から支給するのも一つの方法です。
- ・昔から地域に住んでいる人々は自治会加入が当たり前であるが、新住民は自治会加入に消極的であるという話をよく聞く。その理由は、自治会に加入していなくとも、日常生活に支障がないことが最大の理由のようである。
- ・自治会加入によるメリットが実感できるような活動をする必要があると考えるが、そのための具体的な対策がにわかには思いつかない。
- ・小さい子供がいても参加できるような自治会
- ・賛否両論だろうが、地域でもっと専門官が活躍できるプログラムを組んでは。又このあとで書きますが、子育てに苦勞をされている若い中年のご家庭のサポートをしてあげる。それをポイント換算で積み立てておく。どこかの県ではすでに始まっていると聞くが、定年退職した方々に（希望者）独居老人（市のホームも）の手伝いをしてもらい、ポイントを貯めるシステム。貯めたポイントは老後必要になったら使うし、不要なら市からご褒美をあげる。または必要な方に譲渡出来る。そんなシステムが可能かどうか検討をして欲しい。退職直後市の方に話をしたが、全く無視されたね。自治体がもっと元気な老人パワー活用したら良いと思います。
- ・今加入していなくて何も不便なことはなく、役員になることも回覧板を回す手間もなく、

今後参加することは考えられないです。

- ・子育てをする若い世帯の加入が低いと思われるので、子ども向けのイベントの開催や、幼子を抱えたママ同士の交流の場所として集会所を活用（部屋の使用料は無料）。自由解放日を設けて、自由に利用してもらおう。自治会として子育て支援に力を入れていることを前面にアピールすることが若い世帯の加入率アップにつながるのではないかと考える。

- ・以前、夫（都内勤務）が自治会長でした。災害時避難所での協力と言われましても、本人は遠距離通勤をしており、帰宅困難者です。昨今は各企業で、帰宅困難者を受け入れる為、有事には、勤務先でその対応もしなければなりません。

- ・今ある自治会で全てやるのは無理です。負担が増すほど加入率は下がり、役員のなり手もいなくなります。

- ・新たな防災組織を立ち上げるか、それが出来ない所は各自で備えるしか無いように思います。

- ・役員が出来ないという理由で退会する家庭が多いので、書かせて頂きました。

- ・アパルトマンション当住民の意識向上及び参加の仕組み作り!集合住宅の組織率向上!集合住宅の住民把握!

- ・コミュニケーション力のアップにつながるような活動が欲しい。

- ・テレビ番組とのタイアップで継続的な住民参加ものがあればと思います。"

- ・自治会費を無くし、一応全員が自治会に入っている事とする。

- ・自治会費は市が出す。

- ・除草作業やゴミ拾い等々は自治会が行う。

- ・防犯、防災。田舎だからか、何かあったときの集合場所がない。知らない。小学校もあるが、廃校となった今どうなるのか？

- ・自治会費の軽減。特に年金生活者。

- ・緊急の場合をのぞいては 30 日～45 日前に日程がわかると参加しやすいと思う

- ・祭りなどの負担がかかるものは有志でやる。回覧板などはネットを利用する方が周知率は高くなると思う。

- ・子供中心でなくて、大人同士の交流(男性同士の交流)。ゴルフ大会がよい交流ができる。

- ・アパルト住まいで、回覧板が回ってこないため、活動内容が全く分かりません。

- ・子供から老人まで幅広い年代が楽しめるもの。

- ・地域の生活環境美化推進にかんする意見や行事を募る活動をしてみては如何でしょうか。

- ・自治会への入会の仕方がわかりません。

- ・月 1 袋ずつゴミ袋がいただけるとか、せつかく年会費をお支払しているので、生活に役立つメリットがあるといいなあと思います。

- ・自治会に入っていると、月替わりでその地区の食べ物屋さんが安くなるとか。

- ・高齢者が増えているので、高齢者対策が必要だと思う。

- ・近隣のお祭りの時まで自治会の存在を知らなかった。自治会があることや、加入につな

がる代表者名などを、成田市への転入の際に案内してもらえると良いと思う。

- ・自治会対抗の対抗の大会があれば、地域に色が出て、興味を持つきっかけにもなると思っています。

- ・自治会活動内容自体把握していない為、わかりません。

- ・自治体活動について

市よりイベントの道具のリース（子どもの御神輿や綿菓子製造機等）を通して、お金の掛からない方法を市より提案。また、小さな自治会では単独でのイベントには限界があり、盛り上がり欠けて決まった人のみが集まるイベントになっている。近隣自治会が協力してイベントを行うように市から企画力がある方を投入する必要性を感じます。

- ・加入率について

市に転入時、移動時に、市窓口にて区長の所在地を教える。私の転居時は、あいさつ回りの際に近所の方に聞いて、所在地が分かった。最近はいいさつ回りしない方もいるので、スタート時の非加入の対策になると考えます。子どもが大きくなると脱退する方が見られます。子どもを通しての地域との関わりが強く、子どもが居なくなると地域との関わりの必要性を感じない事が原因と考えます。子どもが居る内から、子ども以外での地域との関わりを持てるように防犯活動等の子どもが参加しない活動に会員を集め、小集団毎に共有する時間を設けて、活動する事で、地域との関わりのきっかけを作る事も検討頂きたい。

- ・自治会の加入世帯数を 100 世帯以下にすることにより地域の連携を深める。(加入世帯数が 300 を超えると管理しきれないので分割すべき)

- ・スポーツ交流などはこれから必要な活動になると思います。

- ・いまいち疑問の寄付金がイロイロある。しかしマンション住人には回覧版等も回さないが、自治会に入れなくて、寄付も貰わない。が、行事等は参加者が少ないらしく参加の声掛けをしたりする。地域住民は戸建てマンションも平等に参加及び費用負担をするべきだと思います。

- ・祇園祭以外の祭りが必要。

- ・活動内容を明確にして欲しい。

Q10	その他、自治会活動について、ご意見があればお書きください。(自由記述)
-----	-------------------------------------

- ・市議会議員の一部が必ず自治会長をやったり、「顧問」という微妙な役割に籍を置くような政治色がある自治会にはしてほしくない。

- ・加入してない人への加入促進をした方がいいと思う。

- ・内容が無い自治会は廃止統合して効率化する事が望ましい。

- ・成田市の自治会組織率は60%程度。費用負担・業務等に不平等感がある。市民協働課も自治会の在り方を研究すべき。

- ・近隣の自治会との交流も有効であると思う。

- ・行政がリードしてもらった方が、統制が取れると考える。
- ・役員の方はよくやってくれていると思います。助かります。
- ・団地では住民の声がなかなか集約されていない。
- ・まだまだ市の教育指導を仰ぎながら成長すべきと思われる。
- ・美化運動に参加される方の率が少ない。
- ・自治会の資材備品購入費の半額補助について、前年申請してからの購入ではなく、一定額たとえば二〇万円以内は当年度に購入できるように改訂していただきたい。前年申請ではタイムリーな購入が出来ない。市の予算の問題がありますと言われるかも知れませんが定額最低限の予算は毎年組み込んでおけば解決出来ると思います。ご検討よろしくお願いたします。
- ・自治会運営モデル地区の紹介等。
- ・自治会費が正しく使われているのか、気になります。
- ・自治会会長が非常勤職員として手当をいただいていることを周知して欲しい、と云う意見が出ました。皆の協力によって、その年の自治会行事が遂行されるのに、高額な報酬はおかしいのではないか？と、問題になった事がありました。
- ・防災は知識、リーダーシップの問題があり専門化しないといざという時に役に立たないのでは。
- ・市からの支援も各自治会一律ではなく、活動の広がりや深みに応じたプレミアムを付与すべきである。飲み食いにしかお金を使わない消防団活動への助成に比し、額及び施策とも貧困である。
- ・新住民の加入率や活動参加率の推移・傾向が、どうなっているのかよくわかりませんが、長期的には新住民の加入が自治会活動の成否のカギと考えます。新住民のコミュニティ意識や期待に関する実態調査を行い、データに基づき、産学共同で活性化策を検討したらどうでしょうか。
- ・道路を作る際の会議に、そのときの自治会の役員が出席しなかったために、非常に使い勝手の悪い分離帯を作られてしまった。メルキュールホテル脇から 51 号にでる道が片側車線にしか出られない。このような生活に直結する重大な決め事を役員欠席というだけで自治会の意見を聞かない制度が全く理解できない。
- ・大型マンションの自治体加入がないから、戸建て住民だけが地域を支えている感じが大きい。
- ・できれば自治会には加入したくない。
- ・毎年、会費を捨てているようなものです。
- ・役員ではないときは役員さんにおんぶにだっこ、となっているのが現状です。積極的に参加できる要因は何か？
- ・町内に自治会が二つあるのもまとまらない要因だと思います。
- ・自治会自体の運営に市からの支援が必要だと考える。

- ・何のために自治会があるのか、何がおこなわれているのか実態を知らない。
- ・自治会の範囲や活動内容がわからない。
- ・地域ごと自治会での活動内容を公表してはどうかと思う。
- ・自治会自体がないので何もわかりません。
- ・自治会活動をすることで、子供を見守る環境だったり地域の人とのつながりが生まれると思うのですが、役員になると負担が大きくてとても大変なのです。正直もう少し負担がなくなればと思います。
- ・存在価値を見出せない。必要性を全く感じないし、感じた事すらない。
- ・以前は自治会のない地域（成田市内）に住んでいたのですが、自治会がないと支障があるとは思わないし、自治会が無い、または入らないことにより支障があるとすれば、それは行政の不備であると考えます。自治会は、あくまでプラスアルファ的な存在で良いと思う。自治会活動は負担にならない程度に、また、活動に参加する人たちが参加することが楽しいと思うような活動ができれば良いと思う。何々しなければ、いけない。と言うような活動になりがちだが、それでは負担が大き過ぎ、次世代に続かない。
- ・会長になると市との調整など平日の活動が多くなり、会社をリタイヤした人でないとなかなか頼みづらい。自治体活動に必要な市とのコンタクトに付いては週末に行えるようにしてもらえると会長になる人に対して選択肢が広がり、より能力のある方に会長をお願いしやすくなる。
- ・ご近所同士の縛りあいにならないよう負担軽減してあげてほしいです。収入は少ない、働くのが優先、高齢化などいろいろありますので
- ・ご近所の方の名前も顔も知らないのももう少し知り合いになれる様な活動が欲しい
- ・区域により老若の区別が見られ、動より静が勝っているように感じる。老（静）の参加できる（活躍できる）活動を増やしたい。
- ・民主主義と自治会運営に問題がなければ良いと思うが、なかなか上手く合わせられないのが現状でないかなとも。理想が違う、仕事が違う、生活も違い、家族も違うからね。難しい中で、ネットが貢献できれば、それはそれで良いツールだと思うよ。
- ・自治会の加入が自由で、しかも加入しても何らのメリットが感じられないことで加入率が低いのだと思います。
- ・地域活動を積極的に参加して、各自治会員の意思の疎通を図る。
- ・現在住んでいる団地では高齢者が多くなり、車の運転ができなくなると住みにくくなる。高齢や病気などで引きこもっていると活動そのものに参加できない。何気なく手伝うことが難しい。表示できたらいいけど、助けてほしい人と助けができる人の。
- ・新しく来た住民にも、以前から住んでいる人の声かけ等をしてもらえればと思います。
- ・出来るだけ多くの人に役員をしてもらう
- ・自治会長は、出来るだけ多くの、複数の人が、なるべきで、一部の地域で、同じ人が4年以上連続してやっているのは好ましい事ではない。行政からの指導とプレミアム（行政

報奨金等を減額、調整する)等で、改善できるのでは。

- ・ご婦人がたは集う方法はいくらでもあるが、問題は高齢男子(爺さん)の集う場所。気兼ねなく軽く一杯やれる所でも、なんて考えることがある

- ・役割や順番を決めてなるべく全員が参加できる仕組みをつくるようお願いしたい。

- ・自治会同士の交流も必要でしょう。

- ・近隣自治会の共同企画があればいいと思う。

- ・自治会のホームページを作り、活動内容を常に情報提供が欲しい。

- ・必要なだけに回す回覧板(インターネットで見れる人には不要)。防災には、賃貸の人も含める(避難所も知らない)。手集めの会費(振り込み式の採用)。若年の参加なし。勝手に決まる規約など。

- ・回覧板は従来通りのものもいい人はそのまま、希望者に対しては電子回覧板としてネットで公開してほしい。

- ・実家にいた時は住んでいた団地が積極的に自治会活動をやっていました。今はアパート暮らしなので、自治会というものがあると声をかけられたことがないし、あるのか分かりません。

- ・最近、個人情報うるさく、自治会の名簿もありません、また役員の名前もわかりません。これでは、自治会は単なる市からの連絡人です。相談ごとが有っても誰に言ってもいわかりません。市としてどう思われますか。自治会を抜けている人への連絡事項は?自治会活動なので、住民が主体になるのはわかりますが、例えば、成田市にある企業を巻き込んで、行政・住民・企業の3本柱で活動していくのはどうでしょうか。企業は働く場所とはいえ、昼間の短くない時間、そこで活動しているので、いろいろ要望などがあってもおかしくないとは思いますが。

- ・市は地域住民の幸せを考えて、物事に取りかかって下さい。2週間ほど前に市の窓口に出向き、駅前工事の遅れを指摘した。その気になればとつづく終わる工事量を、予算が余ったのか?計画通り今年の冬までにかかりますと。どれだけ市民に迷惑をかけている事など眼中に無し。それと埋めたり掘ったり、取り付けたり取ったり。これの工事費、市が払うのですか、業者持ちなのですか。しっかりして下さいよ。そこで市に提案です。私の様なうるさくて変わった男のアイデアを、成田市の発展の為に活用出来る様な第三者機関の創設を提案します。稲盛さんもおっしゃっています、第三の案で説明しています。ご検討をお願いします。

- ・防災に関する取り組みが今重要になっているが、防災訓練など災害発生を想定しての活動が実施されていない自治会が多いと聞く。実施できるような体制ができていないのが現状であると思うが、体制が整備できるように、市や県はノウハウを学ぶ場や機会を積極的ににつくり随時相談や情報提供を進めていってもらいたい。

- ・学校等との連携、子供会活動の充実、退職者で自由時間のある方の協力を得て高齢者の活動組織を作る。

- ・子供会は、子供少なすぎて機能しなくなってきている。もう少し開発や子供に優しい環境がないと、寂れる一方だ。不便すぎるし、子育てにはあまり向かない地域である。
- ・自治会費を義務化している集合住宅もある中、集金方法など問題が多く役員のなり手が無いのが残念。
- ・お互い様の気持ちが薄れていく中、この先継続するのが難しくなっていくと思います。
- ・これからも市として各自治会への協力をお願いします。
- ・アパートでも、居る間は、地域と関わりを持ちたいと思っているのでアナウンスだけでもしてもらえたらなと思います。
- ・成田がより活気づくまちづくりを目指して活動していただけると感じます。
- ・会費・経費の効率的な運用と明快報告に努めることが肝要ではないでしょうか
- ・若い人も参加しやすいような雰囲気作りをお願いしたいです。
- ・高齢化が進み、班長が無理な家が増えている中、基本的に全家庭、参加しなくてはいけない義務的なところは、どうなのかと思う。
- ・今後、自治会活動について、調べてみようと思いました。
- ・アパートと戸建ての壁を感じます。アパート住まいの際は、自治会との関わりが無く、戸建てに移ると自治会と関わる必要が生じます。
- ・私は、子どものころ戸建てに住んでいましたが、子どもの頃アパート住まいだと自治会自体理解できないと思ってしまいます。子供会だけの繋がりになってしまう一因と感じます。
- ・自治会から脱退する世帯が増えているのに地域の外灯の電気代とか払わないのは許せない。自治会に加入していなくても最低限の自治会費は払うべき。

～まとめ～

○自治会活動に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今回のアンケート結果からは、世代間・居住地域・戸建てや集合住宅等の住居環境の違いなど、その人それぞれの立場によって、自治会に対する認識や価値観は大きく異なることがわかりました。

その一方で、災害時などにおいては、地域の担い手として自治会活動に期待されている部分は大きいようです。自助・共助・公助の連携の下、活気ある地域コミュニティをつくり上げることにより、災害などに強い安全・安心なまちづくりを進めることができます。

市としては、今後も自治会加入促進に向けたPRや転入者への広報に努めるとともに、先進事例の研究やその周知にも力を入れていきたいと考えます。